

子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

1. 保育・教育サービスの充実

保育所や幼稚園などの就学前保育・教育サービス及び学童保育や地域子育て支援センターなどの子育て支援サービスの必要量及び提供量を定めています。

《表について》

- ①必要量（当初計画値）・・・第五次箕面市子どもプラン策定時の各年度における必要量
 ②必要量（実績）・・・各年度に実際に必要だったサービス量
 ③提供量（実績）・・・各年度のサービス提供量の実績

◆就学前保育・教育サービスの必要量・提供量について [プランP51～P53]

（基準日が各年度末の場合のR7実績においては、12月末時点の数値）
 （一部11月末時点の数値）

（基準日：各年4月1日）

(1) 保育を必要とする0歳児

（単位：人）

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		183	191	189	188	183
②必要量（実績値）		175				
③提供量（実績）	保育所	130				
	認定こども園	33				
	地域型保育事業	17				
	合計	180				
過不足（量）（③－②）		5				

(2) 保育を必要とする1歳児

（単位：人）

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		532	559	570	577	588
②必要量（実績値）		523				
③提供量（実績）	保育所	380				
	認定こども園	71				
	地域型保育事業	58				
	合計	509				
過不足（量）（③－②）		▲14				

(3) 保育を必要とする2歳児

（単位：人）

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		628	621	630	630	629
②必要量（実績値）		623				
③提供量（実績）	保育所	435				
	認定こども園	112				
	地域型保育事業	70				
	合計	617				
過不足（量）（③－②）		▲6				

(4) 保育のみを必要とする3～5歳児

(単位：人)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	1,706	1,712	1,689	1,638	1,606
②必要量（実績値）	1,738				
③提供量（実績）	保育所・認定こども園 1,819				
過不足（量）（③－②）	81				

(5) 保育を必要とする0～5歳児（(1)～(4)）合計

(単位：人)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	3,049	3,083	3,078	3,033	3,006
②必要量（実績値）	3,059				
③提供量（実績）	3,125				
過不足（量）（③－②）	66				

実績

◆令和7年度

- ・小規模保育事業所1園（19人定員）を、保育所（40人定員）へ移行（令和7年4月1日移行）
- ・保育所1園（120人定員）を認定こども園（2・3号で138人定員）へ移行（令和7年4月1日移行）
- ・保育所1園（90人定員）を認定こども園（2・3号で104人定員）へ移行（令和7年4月1日移行）
- ・事業所内保育施設1園（19人定員）を開設（令和7年4月1日開設）

方向性・課題

- ◆就学前児童の減少は進んでいるものの、保育ニーズは低下せず増加する一方のため、令和7年4月は待機児童が14名発生した。既存の保育施設での保育士確保並びに定員確保に努めるとともに、定員拡大を図る方法を検討する。

(6) 保育及び幼児教育を希望する3～5歳児

(単位：人)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	623	629	624	623	630
②必要量（実績値）	596				
③確保方策（提供量） （実績値）	認定こども園	249			
	私立幼稚園	258			
	認可外保育施設	89			
	合計	596			
過不足（量）（③－②）	0				

(7) 幼児教育のみを希望する3～5歳児

(単位：人)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	1,206	1,124	1,028	946	914
②必要量（実績値）	1,178				
③提供量（実績）	認定こども園	796			
	幼稚園	382			
	合計	1,178			
過不足（量）（③－②）	0				

(8) 幼児教育を希望する3～5歳児（(6)～(7)合計）

(単位：人)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	1,829	1,753	1,652	1,569	1,544
②必要量（実績値）	1,774				
③提供量（実績）	1,774				
過不足（量）（③－②）	0				

実績

◆幼児教育のみを希望するものは減少しているが、保育および幼児教育の双方を必要とする児童は増加傾向にある。

方向性・課題

◆幼稚園・認定こども園については、幼児教育のみのニーズが減少している。今後も子育て世帯の選択肢の一つとして、幼稚園・認定こども園の預かり保育や認定こども園（保育園コース）など、ニーズに応じた定員設定を促していく。

◆地域子ども・子育て支援事業の必要量・提供量について [プランP55~P74]

(1) 時間外保育事業(保育所等の延長保育) [プランP55]

(基準日: 各年4月1日)

(単位: 人)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量(当初計画値)		1,906	1,929	1,917	1,906	1,888
②必要量(実績値)		968				
③提供量(実績)	保育所	670				
	認定こども園	274				
	地域型保育事業	24				
	合計	968				
過不足(量)(③-②)		0				
実績						
◆令和7年度: 公立保育所2園、公立認定こども園1園、民間保育所26園、認定こども園7園、地域型保育事業所8園で実施。						
方向性・課題						
◆保護者の働き方が多様化してきていることから、新規・既存園での保育時間の延長に向けて、補助金の加算等政策誘導をかけていく必要がある。						

(2) 放課後児童健全育成事業(学童保育) [プランP56]

(基準日: 各年4月1日)

(単位: 人)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量(当初計画値)	1年	717	719	722	712	698
	2年	524	642	644	646	637
	3年	440	426	520	521	523
	4年	264	285	275	337	337
	5年	132	143	155	147	181
	6年	73	63	67	75	71
	合計		2,150	2,278	2,383	2,438
②必要量(実績値)	1年	601				
	2年	484				
	3年	407				
	4年	262				
	5年	127				
	6年	68				
	合計		1,949			
③提供量(実績)	合計	1,997				
過不足(量)(③-②)		48				
実績						
◆学童保育利用児童の増加に伴い、保育室の整備の検討を行った。						
方向性・課題						
◆学校毎の児童数の推計から、学童保育利用児童数見込みを策定し、年度当初に待機児童が発生しないよう、計画的な保育室の整備を進める。						

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）[プランP58]

(基準日：各年度末)

(単位：人日)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	29	29	29	28	28
②必要量（実績値）	58				
③提供量（実績）	58				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
<p>◆短期入所生活援助のみ実施（主な利用例：レスパイト、養育者が病気、入院等の場合）。夜間養護は利用がなかった。</p> <p>◆利用可能施設数：7施設</p> <p>◆令和6年度：48人日</p> <p>◆令和7年度（12月末まで）：58人日</p>					
方向性・課題					
◆引き続き、当該サービスが必要な世帯に対し、個々の状況に応じた適切なサービス提供を図る。					

(4) 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

(基準日：各年度末)

[プランP59]

(単位：人日)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	14,490	14,490	14,626	14,466	14,313
②必要量（実績値）	8,091				
③提供量（実績）	地域子育て支援拠点 8,091				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
<p>◆2か所の子育て支援センターでプレイルームの開放を行い、主に未就園児の親子が自由に遊び、子育て仲間と交流できる場の提供を行った。</p> <p>◆親支援プログラムや集団援助プログラムを年間を通して実施するとともに、電話や子育て支援センターなどでの育児相談を実施した。</p> <p>◆出張子育てひろば実施状況 （子育て支援センターの保育士等が地域に出向いて遊びと交流の場を提供する事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：165回実施、延べ参加組数は1,850組 令和5年度：172回実施、延べ参加組数は2,447組 令和6年度：228回実施、延べ参加組数は3,376組 令和7年度（12月まで）：193回実施、延べ参加組数は2,378組 					
方向性・課題					
<p>◆みのおサンプラザ内にあった「おひさまルームみのお」の休室に伴い、地域に出向いて遊びと交流の場を提供する「出張子育てひろば」や「お外で遊ぼう」のプログラムを強化する。</p> <p>◆低年齢からの保育所や幼稚園の入園児が多く、利用者が低年齢化（0歳、1歳）している。未就学児を中心に周知し、更なる利用に繋げていきたい。保護者が子育て仲間に出会い、「楽しかった」「また来たい」と思える交流の場を作っていく。開催日や時間の周知方法を検討していく。</p>					

(5) 一時預かり事業 [プランP60]

(基準日：各年度末)

①幼稚園型

(単位：人日)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量 (当初計画値)		71,827	71,385	69,764	68,680	68,935
②必要量 (実績値)						
③提供量 (実績)	1号認定					
	新2号認定					
	合計	0				
過不足 (量) (③-②)		0				
実績						
<p>必要量及び提供量の実績については、年度途中での実績値は把握しておらず、年度末に一括して各施設から実績報告をもらうため、年度末終了後に報告します。</p>						
方向性・課題						
◆継続実施						

②上記以外 (在宅) 利用

(基準日：各年度末)

(単位：人日)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量 (当初計画値)		8,250	8,316	8,248	8,409	8,595
②必要量 (実績値)		4,870				
③提供量 (実績)	保育所	2,223				
	認定こども園	1,142				
	地域型保育事業	230				
	ファミリー・サポート (就学前)	499				
	ちょこっと保育	776				
	合計	4,870				
過不足 (量) (③-②)		0				
実績						
<p>◆市内の民間保育園、認定こども園、地域型保育事業所のうち7カ所で実施。 ◆保育所、認定こども園、地域型保育事業 (令和7年11月までの実績) ◆ファミリー・サポート事業における一時預かり ・令和7年度 (12月まで) : 499件 ◆ちょこっと保育 (時間単位で利用が可能な一時預かり事業) ・令和7年度 (12月まで) : 184日開所、延べ利用</p>						
方向性・課題						
◆継続実施						

(6) 病児保育事業【プランP62】

(基準日：各年度末)

(単位：人日)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		1,350	1,931	2,559	2,949	3,207
②必要量（実績値）		765				
③提供量（実績）	病児保育	682				
	病後児保育	83				
	合計	765				
過不足（量）（③－②）		0				
実績						
<p>◆平成30年度（9月）から市立保育所（萱野）において、病児保育を実施。令和6年度（4月）から幼保連携型認定こども園（かやのこども園）に移行してからも実施。</p> <p>◆市立保育所2所（桜ヶ丘、東）、幼保連携型認定こども園（かやのこども園）において、病後児保育を実施。</p> <p>◆令和4年4月に小児科に併設した民間の病児保育室を開設。</p> <p>◆なお、上記実績値には含まれていないが、市立保育所に加えて、平成28年度からは市内の民間保育園や認定こども園でも体調不良児対応型保育を実施しており、令和7年度時点では、合わせて22カ所が体調不良児対応型保育を実施している。</p> <p>※体調不良児対応型保育…保育中に児童が体調不良となった場合、保護者が迎えに来るまでの間、看護師が対応すること。</p>						
方向性・課題						
<p>◆大規模な感染症等が発生したときの運営など、引き続き病児・病後児保育の運営上の課題等について検討し、解決に向け、取り組んでいく。</p>						

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

(基準日：各年度末)

【プランP63】

(単位：人日)

		R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		1,554	1,554	1,554	1,554	1,554
②必要量（実績値）	合計	894				
③提供量（実績）	就学前	499				
	就学後	395				
過不足（量）（③－②）		0				
実績						
<p>◆会員数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度（12月まで）：依頼会員1,276人、援助会員462人、両方会員150人、合計1,888人 <p>◆活動件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度（12月まで）：894件（月平均約99件） 						
方向性・課題						
<p>◆援助会員及び両方会員の増員を図る。</p> <p>◆事業についての利用周知を図る。</p>						

(8) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

（基準日：各年度末）

【プランP64】

（単位：人）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	857	895	885	880	857
②必要量（実績値）	551				
③提供量（実績）	こんにちは赤ちゃん訪問(実数) 551				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
<p>◆保育士による「こんにちは赤ちゃん訪問」及び保健師・助産師による「新生児・産婦訪問」を一体的に実施することで、生後4か月までの乳児のいる家庭への全戸訪問を実施。</p> <p>◆実績は令和7年11月末時点</p>					
方向性・課題					
◆継続実施					

(9) 養育支援訪問事業【プランP65】

（基準日：各年度末）

（単位：人）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	30	30	30	30	30
②必要量（実績値）	22				
③提供量（実績）	養育訪問支援事業(実数) 22				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆出産前後の支援を特に必要とする妊婦、子育てに対し強い不安や孤立感等を抱える養育者、虐待の恐れのある養育者等を対象として、家庭訪問を実施。具体的な育児の技術指導、育児や家事の援助を行った。					
方向性・課題					
◆引き続き母子保健事業と連携し、特に支援を必要とする家庭の把握に努める。					

(11) 子育て世帯訪問支援事業【プランP67】

（基準日：各年度末）

（単位：人日）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	144	168	188	209	227
②必要量（実績値）	48				
③提供量（実績）	48				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆家事・育児等に対して不安・負担を抱えている家庭に対し、訪問支援員による訪問を実施。食事準備や片付け等の家事援助及び、保育所等への送迎支援等の育児援助を実施した。					
方向性・課題					
◆支援を必要とする家庭の把握に努め、個々の家庭状況とニーズに合わせた支援が実施できるように、訪問支援員の増員等を検討する。					

(12) 親子関係形成支援事業（令和7年度から実施）

（基準日：各年度末）

【プランP68】

（単位：人）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	12	12	12	12	12
②必要量（実績値）	8				
③提供量（実績）	8				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者に対して、講義やグループワーク、ロールプレイ等の連続講座を実施。子どもとの関わり方について場面ごとの具体的な技術指導を行った。					
方向性・課題					
◆特に本事業の利用が望ましい家庭の把握に努め、講座の受講前には親子関係の課題を整理し、受講後はアフターフォローを行う等して、事業効果を高めていく。					

(13) 児童育成支援拠点事業（令和7年度から実施）

（基準日：各年度末）

【プランP69】

（単位：人）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	52	52	52	51	50
②必要量（実績値）	39				
③提供量（実績）	39				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆利用可能施設数：2施設 ◆利用児童数 ・令和7年度：39人（週利用平均2～3日）					
方向性・課題					
◆継続実施 ◆関係機関と事業についての利用周知を図る。					

(14) 妊婦等包括相談支援事業（令和7年度から実施）

（基準日：各年度末）

【プランP70】

（単位：回）

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	2,571	2,685	2,655	2,640	2,571
②必要量（実績値）	1,346				
③提供量（実績）	こども家庭センター 1,346				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆妊娠届出時の面談、妊娠8か月時のアンケート及び希望者への面談、産後の乳児家庭全戸訪問により保健師や助産師等の専門職が相談に応じる。 ◆妊婦支援給付の支給と一体的に実施。 ◆実績は令和7年11月末時点					
方向性・課題					
◆継続して実施し、支援が必要なかたの把握に努め、必要な支援に繋げる。					

(15) 産後ケア事業（令和7年度から実施）[プランP71]

(基準日：各年度末)

(単位：人日)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	492	514	508	506	492
②必要量（実績値）	549				
③提供量（実績）	549				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆令和7年11月末時点 訪問型：52人日 宿泊型：196人日 日帰り型(個別・集団)：301人日					
方向性・課題					
◆継続実施					

(16) 乳児等通園支援事業（令和8年度から実施）

(基準日：各年度末)

[プランP72]

(単位：人日)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）		20	20	64	62
②必要量（実績値）					
③提供量（実績）					
過不足（量）（③－②）					
実績					
方向性・課題					

(17) 妊婦健康診査 [プランP73]

(基準日：各年度末)

(単位：回)

	R7	R8	R9	R10	R11
①必要量（当初計画値）	9,598	10,024	9,912	9,856	9,598
②必要量（実績値）	6,168				
③提供量（実績）	6,168				
過不足（量）（③－②）	0				
実績					
◆妊婦健康診査への公費助成を行い、安心・安全な出産に向け妊婦及び胎児の健康管理が行える体制を確保した。 ◆実績は令和7年11月末時点					
方向性・課題					
◆継続実施					

(18) 利用者支援事業（子育て関連情報の提供・相談窓口）

（基準日：各年度末）

【プランP74】

（単位：か所）

	R7	R8	R9	R10	R11
実施施設数（基本型）	—	1	1	1	1
地域子育て相談機関	—	1	1	1	1
実施施設数（特定型）	1	1	1	1	1
実施施設数（こども家庭センター型）	1	1	1	1	1
実施施設数（実績）	2	4	4	4	4
実績					
<p>◆地域子育て相談機関及び基本型…令和8年度から実施予定 ◆特定型（子ども総合窓口）…子育て支援サービスの利用調整や相談を実施した。 ◆こども家庭センター型…母子保健部門と児童福祉部門が連携・協働し、すべての妊産婦及び子どもとその家庭等を対象とし、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない相談支援を実施した。</p>					
方向性・課題					
<p>◆継続実施 ◆相談体制の更なる充実</p>					